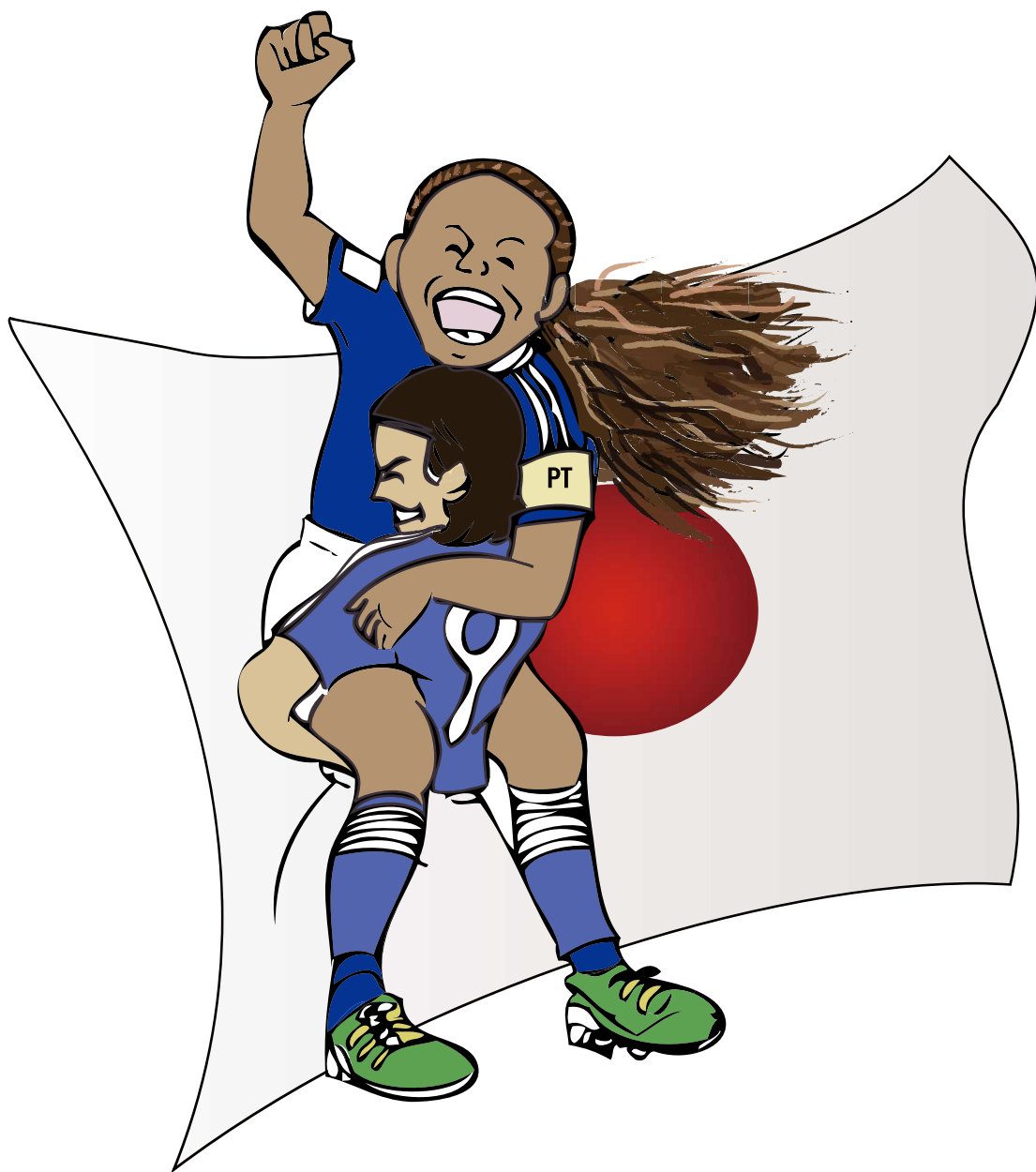


かくどけい

KAKUDOKEI 2011

98号



社団法人熊本県理学療法士協会
広報誌「かくどけい」
平成 23 年 7 月 25 日 発刊



- 001 巻頭言 「粘っこく」 坂崎浩一
- 002 理事会報告
- 011 各部・委員会報告
教育部
渉外部
表彰審査委員会
厚生部
保険部
宣伝部
生涯学習部
学術部
事業部
学術事業部
- 015 事務局だより
- 016 くまもと北から南から
- 017 学会・研修会のお知らせ
- 018 学術事業部 文献紹介
- 019 大観望 「仁」とは 福島芳子
「最近の出来事…」 藤原慶太
- 020 他士会便り 「アクティブセラピスト」 福岡県 No. 182
- 021 学会・研修会印象記 「第46回日本理学療法学術大会に参加して」
「第12回日本関節運動学的アプローチ医学会
理学・作業療法士会学術集会に参加して」
- 022 第1回新人研修会印象記
- 024 よろず運動療法相談所 ～糖尿病小委員会～
- 025 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 026 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 027 第16回熊本県理学療法士学会のお知らせ
- 028 国際医療福祉大学大学院紹介
賛助会員一覧
- 029 事業予定表
医療機器トピックス
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 粘っこく 』

社団法人 熊本県理学療法士協会
専務理事 坂崎 浩一

暑中お見舞い申し上げます

ワールドカップでの偉業、なでしこジャパンの活躍には本当に元気をもらいましたね。決勝当日は早朝からヒートアップされた方も多いのではないでしょうか。ご多分に漏れず私も夜明ける前からボリュームを落としたテレビにくぎ付けで、小さく声援を送り続けました。点を入れられては追いつき、また離されては追いつくその姿は「撫し子」と幾多の句に詠まれたような万葉の女性像とは異なり、夢追い続ける逞しさと粘り強さを強く感じました。

震災以降、復興に向けて国民一丸となって支援する「団結の力」をそれぞれが感じとり、行動に移すべく取り組みを始めてはいるものの、次々に噴出してくる新たな課題を前に漠然とした閉塞感を抱いている人も多いと思います。今回の優勝はそんな澁んだ空気を一掃してくれた感がありました。マスコミの報道を見ていると、日本人がこれほどに喜びを共有できたことはこのところなかったなあと改めて感じ入ったところでした。監督のコメントに「ちっちゃな娘たちが粘り強くやって…」とありましたが、まさに粘り勝ちでしたね。

さて、熊本県理学療法士協会もコツコツと粘っこく活動を続けています。公益法人取得を旗印に掲げ、取り組みを始めて3年目。事業内容や予算・遊休資産の点から公益法人は難しいと言われてきましたが、ここに来て少しだけ明るい兆しが見えてきました。ブロック訪問での意見交換や各部活動内容の公益事業への転換、県庁との折衝等地道な取り組みが実を結びつつあります。もう一頑張りといったところです。

もう一つ今年度の新しい取り組みとして、組織の見直しがあります。会長の旗振りのもと組織検討委員会を立ち上げ活動を開始したところです。大きな命題は3つ。ブロック再編、小委員会の再検討そして部局の見直しです。ブロック再編は会員分布とその地域性、また保健圏域との絡みなど事業遂行の問題も含み、着手しなければならないと分かっている程の大きな課題です。小委員会については、その設置目的はもとより日本理学療法士協会の専門領域との関係も視野に入れて検討しなければなりません。部局の見直しは、公益性を持った事業展開を円滑に行うことは勿論のこと、10年後20年度の当会のあり様を見据えながら検討を進めなければなりません。それぞれにハードルの高さは言うに及ばませんが、とにかく粘っこく粘っこく取り組んで行かなければと思っています。

今年は梅雨明けが早かった分、暑い夏が長くなりそうですね。やるべきことが沢山ありますが、夏バテしないよう頑張りましょう。



理事会報告

平成22年度 第13回理事会議事録(要約)

日時：平成23年3月2日(水)19:10~21:10

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・田島・

野津原・野間・前田・光本

(監事)中島

(事務局員)池島・井上

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)小森田・三宮・筒井・増田

(監事)寺川

(相談役)小川・森重

(事務局員)仙頭・木下・村田・清水・小木・山本・福

島・久米野

書記：池島・井上・前田

1. 報告事項

1) 事務局機能強化について 【事務局】

(坂崎)2/14・25にIT化に伴う業務部分析を実施。

2) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田)定款4次案の修正を行い県庁とのやり取りを終えた。会館設立に向けては、今後検討していく。

◇情報共有推進化特別委員会報告

(田島)完成一歩手前の状況で確認作業を行った。

◇訪問リハ対策特別委員会

(光本)ケアマネへのアンケート結果を集計中。

◇渉外活動推進特別委員会

(会長)特に無し。

2. 協議事項

1) 公益事業の発案について 【野間理事】

公益事業の一つとして高校野球や中体連の際の準備運動等、理学療法士の活躍が期待できる領域が多い。スポーツ小委員会を中心に次年度に向け高野連や中高校への働き掛けをしたらよいと思

うので検討をお願いしたい。また、他にも公益事業の拡大に対しての中心となる部署の検討も必要となると思うがいかなものか。

(会長)高校野球等での活動については、他士会の関わり方などを参考にしながら検討が必要と思われる。マラソン大会などでも、メディカルチェックの他にも違った取り組み方ができるであろう。次年度は組織検討特別委員会が発足する。その委員会の方で、公益事業の企画・立案・調整を図る部署を検討したい。この内容をスポーツ小委員会の方に話をさせていただきたい。

(野津原)スポーツ小委員会に話しをして、公益性で協力できるところがないか模索してみる。

(会長)会員全体への投げ掛けも必要かと思う。

(前田)一般県民を対象にした事業を組むほうが早い気がする。条件が揃えば出来なくもない。

(会長)新たな公益事業としてグランドゴルフが企画されている。公益事業の継続性を考慮し、周到な計画を練る必要がある。

2) 生涯学習部長の交代及び推薦について

【生涯学習部】

(大島)太田部長の一身上の都合により、本年度をもって生涯学習部長を退任したい旨の申し出があった。後任には前部長の星澤厚志氏を推薦したい

(会長)承認でよろしいか。

(理事)承認(11/11名)。

3) ロゴマーク決定について

【情報共有推進化特別委員会】

(田島)募集期間を設け2名からの応募があり、3案を提出している。

(会長)①~③案のうち多数決により決定する。

(理事)①案：9/11名、②案：1/11名、③案：1/11名

(会長)多数決の結果、①案に決定した。

4) ホームページ掲載時の監査役選定について

【情報共有推進化特別委員会】

(田島)掲載時に、二段階に分けて監査し、許可を得る形式で作成している。その監査役を2名決定していただきたい。第1承認が専務理事、第2承認には副会長がよろしいかと考えている。

(前田)専務理事、副会長の活動量が多い。一次的な部分を局付担当理事とし、アップするかどうかの判断を三役で分担するというのはいかがか。

(田島)第1承認には全体の把握がし易い専務理事がよいであろうこと、最終決定として第2承認に三役が担うべきであろうと考えている。

(会長)では、田島理事の案を進める。必要があれば副会長からの相談を受け私が決定する。専務理事、大島副会長には内容を吟味していただくが、細かい文章の構成などは、各部署で責任を持って確認をお願いしたい。

5) 理事会書記について

【前田理事】

(前田)理事が所属する施設から協力スタッフをお願いできないか？

(会長)偏った負荷が掛かることはよろしくない。それが継続することは疲弊の原因になる。

(大島)継続する方が効率は良いと思うが、前田理事の案ではその都度で交代となる。どちらがよいか。

(前田)詳細な議事録ではなく、話の流れが分かる程度の内容で良いとなれば、理事の所属施設で作成してもらってもよいのではないか。

(中島)議事録が閲覧できる状況が必要。

(坂崎)『かくどけい』等に掲載するものは、議題と審議結果が載っている程度のシンプルなものでよいだろう。だが、理事の発言等は記録しておきたいので、それを会員に提示するように考えている。それでも今よりもっと纏めた文章でよい。

(大島)各施設持ち回りで2名出席ということではよいのではないか。

(田島)一度この案を持ち帰り、施設の職員へ確認を取った後で返答したい。

(会長)各自対応が可能であるかをご確認いただ

きたい。会員へも議事録書記を募集する。費用についてもご検討いただきたい。

(坂崎)4月は既に書記がない。

(大島)では先ず当施設から。

6) 第63回「保健文化賞」候補者の推薦について

【事務局】

(会長)推薦する方がおられたら、3/13(日)の理事会までにご提出いただきたい。

7) 天草ブロック長交代について【天草ブロック】

福田誠二氏(天草中央総合病院)

→ 水田順司氏(東整形外科)

(会長)ブロック内では内諾が取れている。

(理事)承認(11/11名)。

8) 八代ブロック長交代について【八代ブロック】

高口聡先生(くまもと温石病院)

→ 塚島靖博氏(人吉総合病院)

(会長)よろしいか。

(理事)承認(11/11名)。

9) 当会各賞業績評価基準について

【第10回理事会継続審議】【表彰審査委員会】

(会長)A案、B案、C案が出ている。

(大脇)A案では、『役員業績』について、三役の業務や役割の重要性を考慮し点数を引き上げた。『被表彰』も引き上げた。

(野間)B案では認めるべきところは認める形に。

(前田)C案は『学術業績』『学会・研修会役員業績』とのバランスを考え、『役員業績』を引き上げた。学会・研修会役員の業績を引き下げた。『被表彰』は現行でよい。

(会長)3案の中でも異なる項目について決を取る。

『役員業績』:

(理事)A案(2/11名)、B・C案(9/11名)

『学会・研修会役員業績』:

(理事)A・B案(4/11名)、C案(6/11名)

『被表彰』:

(田島)当会の表彰を決めるための点数と理解。な

らば、この『被表彰』自体に点数を付けることに意味があるのか。

(会長)これは、元々『りんどう賞』選定の際の判断基準として設けられた。これを規程で決めることはその意味が薄れることになってしまう。

(飯星)外部からの表彰推薦依頼が来た時に、明確な点数があれば選出しやすいという話もあった。

(田島)内部の表彰に関しては二重加点になる。点数化することに同意しかねる。

(会長)点数化しないということではよろしいか。

(理事)承認。

(会長)外部表彰を点数として加味するか否かについてはいかがか。

(理事)加える(0/11名)、加えない(6/11名)

(飯星)評価基準の点数表の『7』・『8』には該当がないので削除してよいのでは。

(会長)削除する。C案の『被表彰』を除いたものに決定する。表彰審査委員会へ連絡をお願いします。

3. その他

・平成23年度第1回理事会日程変更について

【事務局】

(坂崎)第1回理事会を4/13へ変更をお願いしたい。

・県学会表彰者選定会議について 【田島理事】

(田島)総会后、学会評議委員会で県学会の査読をし、表彰者の選定を行う。

・ブロック訪問終了報告 【飯星理事】

(飯星)ブロック訪問が終了。県南16名、天草27名、熊本市148名、八代48名の参加者あり。

・入学式(予定)の調整について 【事務局】

4/2(土) 西日本リハ(野間理事)

4/2(土) 青照館・熊本駅前リハ(北里会長)

4/8(金) 九州中央リハ(飯星理事)

4/9(土) 熊本総合医療リハ(前田理事)

(会長)他、出席可能理事は次回調整頂きたい。

以上、閉会。次回は3月13日(日)。

平成22年度第14回理事会議事録(要約)

日時:平成23年3月14日(水)9:00~9:50

場所:熊本総合医療リハビリテーション学院

出席:

(理事)北里・大島・坂崎・前田・田島・筒井・野津原・

野間・三宮・増田・光本・川上・飯星・大脇

(監事)中島・寺川(相談役)小川

(総会議長)松本(西日本リハ学院)

欠席:(理事)小森田(相談役)森重

書記:矢田(宇賀岳病院)・木下(熊本リハ病院)

1.協議事項

1)入学式の調整について

(会長)4/5九州看護福祉大学、4/9熊本総合医療リハ学院、4/2熊本保健科学大学であるが。

(前田)4/9熊本総合医療リハ学院了解。

(野津原)4/5九州看護福祉大学了承。

(大島)4/2熊本保健科学大学対応可能。

2)管理者教育カリキュラムについて

(田島)今年度、一部受講できなかった方に対し、次年度1クールの補講料を1万と補習したい。

(会長)宜しいか

(理事)承認。

3)総会の進行について

(坂崎)開会の辞を大島副会長、引き続いて会長挨拶。定足数は過半数を十分超えている。定款が絡むが2/3以上を既にクリアしている。議長は西リハの松本先生を推薦し、議長就任後書記の任命をお願いしたい。書記・議事録署名人はフロアに確認頂くことになるが事前に調整している方を推薦頂く。議事は、第1号議案は、私の方から説明させて頂く。質疑の後、挙手でカウントの必要があるため、議長の方から事務局員へカウントする旨を指示して頂きたい。

(坂崎)第2号議案は、前田理事に説明をお願いする。挙手にてカウントする。会費の件はいかがか。

(会長)会費の件と法人取得の流れを説明する。2号議案が承認された場合に前田理事の方から定

款細則に関しては理事会一任の旨説明頂きたい。
(坂崎) 合わせて、県庁との最終的な調整で微細な修正に関しては承認頂きたい旨説明して頂きたい。

以上、議事に関して何も無ければ、松本議長御自身で解任ということで宣言頂き、フロアにお戻り頂く。閉会の辞を田島理事にお願いしたい。以上で総会の進行は終了。

(会長)開会に先立って黙祷を行いたい。また、会場で募金活動をしたい。

4) 学術研修についての変更について

(田島) 第1回の学術研修会日程を1~2月頃に変更。(会長) 日程については調整中であるが、1~2月頃になる可能性が高いと報告したいがいかがか。

(理事)承認

5) 学術部長の交代について

(田島) 山田学術部長より退任の意向あり。後任として副部長の今屋氏を推薦したいとのこと。

(会長) よろしいか。

(理事)承認。

6) 熊本県議会議員推薦について

(会長) 上益城郡選挙区の杉浦康治氏から推薦依頼が届いている。

(坂崎) 推薦状を出す際に要望書も出している。

(会長) これまで通り協会の活動に承認して頂けた方には推薦状を出すという形で対応するが、意見は

(野間) 連盟との兼ね合いは。

(会長) 連盟はその意図に従い連盟の判断となる。協会は選挙活動が出来ないので推薦状のみ。連盟に関しては選挙活動目的であるので推薦する人があれば応援する形になる。当会としては今まで不偏不党という形で中立的な立場をとってきた。

(中島) 連盟の場合は選挙部隊である。誰でもいいという訳にはいかない。それは連盟で協議決定する。

(会長) 杉浦氏に関しては趣旨を説明して賛同し

て頂けたら推薦状を出すということで宜しいか。
(理事)承認。

7) 第63回「保健文化賞」候補者の推薦について

(会長) 前は検討中であつたが、推薦者はなしということで宜しいか

(理事)承認。

8) その他

(飯星) 熊本市ブロック長は、次期は西地区担当であるので高橋氏にお願いしたい。

(理事)承認

(前田) 定款説明は現行の変更点と公益法人へ向かうなかでの注意点に絞って説明したい。

(会長)了解。

以上

平成23年度 第1回拡大理事会 (要約)

日時：平成23年4月13日(水)19:05~20:45

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・大脇・川上・三宮・田島・
筒井・野間・前田・光本

(監事)寺川・中島

(部長・委員長)山本(総務部)・福島(庶務部)・久米野(財務部)・藤原(厚生部)・岸本(調査資料部)・江藤(保険部)・佐藤(広報部)・草野(宣伝部)・今屋(学術部)・前田(教育部)・岩田(学術事業部)・星澤(生涯学習部)・一安(福祉部)・木村(事業部)・山下(表彰審査委員会)・大籠(法人事業審議委員会)・溝上(糖尿病小委員会)・藤本(小児領域小委員会)・西村(スポーツ領域小委員会)

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)小森田・飯星・野津原・増田

(相談役)森重

(部長・委員長)岩下(IT事業部)・奥村(選挙管理委員会)・前本(呼吸領域小委員会)

書記：長福・白石(熊本セントラル病院)

○北里会長挨拶

- ・現執行部3年目の時期
- ・協会ホームページ開設・運用開始
- ・公益法人化申請年度
- ・訪問リハビリテーションは次年度の同時改定（医療保険・介護保険）を見据えた情報収集と対応策定
- ・東日本震災への義援金会員より92,000円集計協会予備費より100万円拠出（全国協会へ）九州ブロック会より200万円拠出予定研修会時に募金箱を設置し義援金募集を継続
- ・ボランティア要請があれば積極的に対応

○坂崎事務局長より事業・決算報告

- ・平成22年度事業報告（資料に沿って報告）
 - ・事業内容記載漏れ等確認
 - ・平成22年度決算報告（資料に沿って報告）
- 以上 事業報告・決算報告書を総会に提出する

○財務部：久米野部長より

- ・平成23年度の事業費を本日口座へ振り込み完了
 - ・決算報告書の作成について説明
 - ・支払い何書の説明
 - ・領収書の説明
- 会議費の取り扱いについて
残金の取り扱いについて
研修会時参加費の取り扱いについて
決算の最終締め切りは、3月の総会時
- ・部員の交通費の説明
- 新公益法人化に向けて、今年度は変更が必要事業ごとに請求するように変更
交通費の請求は4月1日から3月31日の期間で請求

○総務部：山本部長より

- ・公文書等書類の提出方法変更について
 - ・年間報告書の書式に関しては、後日送信
- 今年度の報告書が未提出の部は、未提出の書類を入れているので、4月20日までに提出

○情報共有化推進特別委員会：田島委員長より

- 各部長に、HPへのログインのID、パスワード配

布、ログインして内容確認依頼

○表彰審査委員会：山下委員長より

各部長に、りんどう賞の推薦依頼

○スポーツ小委員会：西村委員長より

今年度はテーピングを公益事業として行う

Q) 広報のあり方についての検討

A) 広報に関しては、ブロックに協力要請
地区の教育委員会や学校等に向けて広報

Q) 会費の取り扱いについて

A) 参加費は無料で必要経費のみ徴収

○広報部：佐藤部長より

Q) 理事に新しい「かくどけい」をPDFで送付している
ので意見を聴取

A) 特になし

- ・「お役立ち便利グッズ紹介」を新規掲載予定

- ・「お役立ち情報」は、小員会に掲載依頼

- ・議事録は要約版をホームページに掲載

以上、閉会

平成23年度 第1回理事会（要約）

日時：平成23年4月13日（水）20：55～22：40

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

（理事）北里・大島・坂崎・大脇・川上・三宮・田島・

筒井・野間・前田・光本

（監事）寺川・中島

（事務局員）山本

（事務職員）石黒・前田

欠席者：

（理事）小森田・飯星・野津原・増田

（相談役）森重

（事務局員）福島・久米野

書記：長福・白石（熊本セントラル病院）

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会（前田）

定款の「別に定める」という規程について提示

(会長)質問は？

(理事)質問なし

◇情報共有推進特別委員会報告（田島・筒井）

協会ロゴマークが決定

新ホームページに4月より移行

(会長)何か質問はないか？新しいHPはみられたか？

(田島)マイページへのログインは個人用パスワードが必要

(会長)ログインの申請登録をお願いしたい。

◇訪問リハ対策特別委員会（大脇・光本）

4月24日に第1回目の訪問リハ実務者研修会を開催予定。4月から8月までの全5回で、内容は昨年度と同じ。

ホームページで研修会の参加申込み受付中

(会長)申込みはHP以外でも可能か？

(大脇)HP上での受付だがメールでも可

県内ケアマネージャーに対する訪問リハに関する意識調査結果報告書提出

アンケート調査結果は、介護支援専門員協会へフィードバックする

◇渉外活動推進特別委員会（北里）

3月31日に熊本県理学療法士協会から日本理学療法士協会へ、東日本大震災に対する義援金送金

2. 協議事項

1) 第15回熊本県理学療法士学会における表彰者推薦の承認について 【学会評議員会】

(田島)県学会終了後に、座長より推薦書提出。新人3名、一般4名、エキスパート3名の演題が審議となり、5名の推薦書を提出。

(会長)何か質問は？

(坂崎)審議過程は？

(田島)評議員全員で各演題の内容等を吟味。合計点数の上位者5名（演題）を選出。

(会長)5演題を学会長賞、新人賞と決め表彰する。

(理事)了承。

2) りんどう賞推薦について 【事務局】

(坂崎)表彰審査委員会から東病院の上村氏推挙。(会長)上村氏の審議を行い、後日追加で申請される方がいれば次回の理事会で審議。

(理事)了承。

(会長)上村氏に関しては？

(会長)審議の結果表彰を決定する。

(理事)承認。

3) 平成22年度事業報告・決算報告 【事務局】

(坂崎)内容は拡大理事会時に報告したとおり。

(会長)何かあれば、今週中に事務局へ連絡をする。

(会長)重点事業について確認。

(中島)事業報告であるため、総括的な結果を載せてはどうか。どの程度達成しているか、進捗状況の数値化を出しいただきたい。

(会長)結果報告については、進捗状況（3年事業であれば、今後の展開など）とあわせて報告する。

(会長)決算報告書の内訳書内「IT事業部」から「選挙管理委員会」の5項目が「管理費」に入っている理由は？

(坂崎)平成22年度の予算付けに対して決算を出している。公益に分けた時に「IT事業部」は、公益にシフトしていく形になる。

4) 諸規程について 【公益法人対策特別委員会】

(前田)定款細則、職務権限規程（案）提示。資産の運用管理は今後の検討課題。

(会長)専門家に相談し、必要であれば規程を作る。

(会長)遊休資産の用途については承認事項なので、早急に取り組む。

(会長)審議の結果、定款細則、諸規程はこの内容で県庁へ持っていく。

(理事)承認。

3. その他

(三宮)助成研究規程は今年度4月1日執行であるが、広報はどのようにするのか。

(会長)会員へ公表しなくてはならない。HPでのせ

られるか。

(田島)掲載する。

(川上)日本臨床福祉学会のポスターが完成した。ぜひ、演題登録をお願いしたい。日程は8月20・21日。熊本県理学療法士協会が後援している。

(大島)ポスターは、HPにのせられるか。

(田島)掲載する。

(田島)今年度県学会を担当する天草ブロックから、理学療法士についての意識調査を一般市民に対して行いたいと要望がきている。

(会長)問題はないと思う。

(会長)今年の10月27～29日、リハケア合同研修会が熊本で開催される。PT・OT・STの3協会が主催で、3協会でシンポジウムを行うことで準備が進んでいる。全国3協会の会長にシンポジスト依頼がきている。

(会長)前回の理事会で議事録作成を理事所属の施設で回していこうと決まった。

(会長)協会に残す議事録(誰が何を言ったか)とかくどけいに載せる要約版を作成する。

(会長)審議の結果、議事録が完成した段階で、事務局へ提出。同時に当該理事で要約版を作成する。

(会長)議事取り(書記)に来ていただく方には、いくらか報酬を出したいと思う。いくらが適切か？

(会長)審議の結果、今年度の議事取りに来る方への報酬は5,000円に決定する。

(会長)次回理事会の書記は？

(前田)うちで準備する。

(坂崎)理事行動録の確認を17日までをお願いする。総会資料と一緒に会員へ郵送する。規約審議委員の委員長交代の報告がないが？

(会長)早急に対応する。

(坂崎)九州合同学会の準備をそろそろ考えていけないといけない。

(会長)再来年は熊本が担当。今年11月の九州士会長会議の時までには、テーマを決めておかなければならない。

以上、閉会

次回理事会：平成23年4月27日(水)

★次回書記調整：前田理事

平成23年度 第2回理事会議事録(要約)

日時：平成23年4月27日(水)19:00～20:40

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・三宮・

田島・筒井・野津原・野間・前田・増田・光本

(監事)寺川・中島

(事務局員)坂本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)小森田

(相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野

書記：

城戸(複合ケアホームはなぞのケアセンター)

平野(介護老人保健施設てんすい倶楽部)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(前田)県庁の担当者が異動により変わり、これまでの経緯・課題を伝えた。定款はクリアになりそうである。別に定める諸規程は本日提出したので今後確認することとなった。

(会長)目標予定である秋よりも前倒しして進めていきたい。協会非加入者に関しては、今後ブロック長の協力を仰いで調査を進める。資産管理に関しても目標金額・期間を決めて総会にかけて対応する。

◇渉外活動推進化特別委員会

(会長)障害者への差別をなくすための条例へのパブリックコメントを協会から提出したい。期限の5月6日までにいくつかは案があるのでそれらをまとめて提出したい。

◇傷害保険の契約について

(坂崎)東京海上日動火災保険を通して契約。会員が協会の活動を通じて何らかの事故にあった場

合の保険。

◇訪問リハ対策特別委員会

(光本)訪問リハに関するアンケート結果を介護支援専門員協会会長にお知らせした。5/14日に熊本支部の総会に参加して、内容を報告する。

◇教育学術局の報告

(大脇)4/24日に第一回の研修が終了。次回は5/8に開催を予定しており。ホームページなどで案内している。

(三宮)学術研修会日程について第一回が9/11、第二回が11/5～6日、第三回目が1/21で決定したので報告する。

◇保険診療研修会

(坂崎)保険診療研修会については江藤部長が急な入院となり中止とし、江藤部長の回復後に調整して報告する。

◇新規事業（グランドゴルフ大会の開催）

(会長)事業部で新規事業としてのグランドゴルフ開催（城南町）は、10月に変更で調整していく方向性。日程変更が分かり次第報告する。

2. 協議事項

1) 平成23年度熊本市地域リハビリテーション協議会各種委員会委員の推薦依頼について

【事務局】

(坂崎)

(任期：H23.4.1～H24.3.31)

・熊本市地域リハビリテーション協議会委員：2名

(H22年度委員) 北里会長・野津原理事

・在宅サービス手引書編集委員会委員：1名

(H22年度委員) 川上理事

・訪問介護検討委員会委員：1名

(H22年度委員) 小森田副会長

・リハビリテーション検討委員会委員

(H22年度委員) 大脇理事

(会長)小森田副会長は変更の方向で話をしている。

く。上記担当者で継続する。訪問介護検討委員会の担当を筒井理事にお願いする。

2) 平成23年度熊本市健康フェスティバル実行委員会各種委員の選出及び企画内容について

【事務局】

(H22年度委員)

※今年度健康フェスティバル担当地区

：熊本市ブロック北地区

(会長)小森田副会長へ確認するが、難しい場合は大島副会長へ依頼する。

3) 平成22年度事業報告・決算報告

(第1回理事会継続審議) 【事務局】

(坂崎)別紙参照。例年通りを予定している。議案は第一号議案である報告と決算についてのみである。

(会長)事業報告・決算報告に関しては前回の理事会から引き続き検討してきた通り。重点事業の総括については文書を作成済。各種特別委員会にあるマスタープランを変更する必要性が生じるかもしれない。今年度の訪問リハステーション設立は困難。ゆくゆくは形造っていきたいという継続する姿勢を示しつつ、新たな戦略そのものは今年度中に立てなければならない。継続して訪問リハステーション設立に向けての活動や働きかけの作業は地道にやっていく。総会では各特別委員会の活動に関して、プレゼンテーションを行ってほしい。マスタープランの変更がある分は総会時の資料に入れ込みたい。5/2までに間に合わせて作成し、会長へ提出。

◇監査報告

(中島)別紙にまとめているので報告。(別紙参照)(会長)指導事項にあるように、会費徴収に際しての事務局の負担軽減のためにカードでの引き落としを推進していく。総会の場でも再度プレゼンを繰り返していく。また、適切な時期に適切な理事の介入が必要。事業が進行している途中で、担当理事からの指導を行なうことで、適切な予算執行ができるように。また執行率が低い事業について

ては反省を踏まえたうえで予算組みをしていくように指導していくこと。公益の割合を維持していくためには、また、管理費や事業費の割合を考える際にきちんとした予算立てが必要。理事や部局でできることはふっていただき、事務局の負担を軽減したい。事務局の働きは堅実で申し分ない。また、機能を分散しておかないと、後々の担当者の変更などあった場合に対応できないので今後検討をしていく。

◇訪問リハステーションの立ち上げの件

(大島)看護師を入れる従来通りのやり方しかできない？法律の方向性は見通しがつかず、方向性が示せない。法が施行されない場合はあり得ない計画となる。できても通所機能を持ったデイサービスセンターでの立ち上げと話が変わってしまう？

(中島)訪問リハステーションそのものの話は厳しいというのが現状。地域支援センターの中に訪問機能を持たせるなどが可能な施策ではないかというところはある話。

(会長)その件に関しては重点事業の総括と総会のプレゼンテーションの中である程度の方向性をそれぞれ示していきたいので願います。

4) 学会評議員のメンバー変更について

【学会評議員会】

(田島)県北ブロック長からの推薦で木村氏が挙がっている。

(会長)学会評議委員として木村氏(関整形外科医院)を承認する。りんどう賞の追加はなかったか？

(坂崎)なし。1名で決定。上村氏のみ。

◇議事録の提出期間や方法の説明

(坂崎)詳細版と要約版を作成する形式で今後提出していただきたい。次の理事会までに内部で確認した後、提示できればよいと思っている。

(会長)議事録に関しては各理事の協力を得て、今後に対応していく。

3. その他

◇熊本保健科学大学の会場使用料と対応職員の人権費について

(大島)熊本保健科学大学の研修などの会場利用について、一回会場を借りて、担当職員の人権費まで足すと合計16000円となり、今後会場費の予算が大幅に変動する可能性があるのでこの場で検討の必要がある。

(会長)駐車場も広く、人員の収容能も高いので使いやすい。会場費の発生は研修数もかなり多いので検討が必要。予備費の対応が難しいのであれば、公益法人の申請に向けた臨時総会が必要となるのでその時点での補正予算の承認が必要になるので、その際に対応していく。

◇来月以降の理事会の担当書記の件

(坂崎)次回の総会の書記は例年通り参加する会員の中から選定する。7月の理事会書記は野間理事の施設からで決定。6月の理事会書記の担当理事を飯星理事の施設からお願いしたい。

◇リハケア大会のシンポジストと座長の選出

(会長)今年の10月にリハケアの大会がある。司会者の1名は保健科学大の飯山氏で決定している。シンポジスト1名、その他座長を推薦してほしい。野尻氏(介護老人保健施設 清雅苑副施設長)含めて、今後調整をしていく。

以上閉会

次回理事会：平成23年5月22日(日)

★次回書記調整：

第3回理事会(5/22)書記調整：坂崎理事

第4回理事会(6月)書記調整：飯星理事

第5回理事会(7月)書記調整：野間理事

各部・委員会報告

教育部

部長 前田 英児

こんにちは。教育部部長の前田です。毎日暑い日が続きますね...

今年の梅雨は雨が激しく、山沿いでは土砂災害など被害もあったようです。皆様のところは大丈夫だったでしょうか?そのかわりといっは何ですが、梅雨明けは早く、明けた途端に猛暑!熱中症予防など体調管理には気をつけたいものです。

さて、教育部では、6月より管理者教育カリキュラムがスタートし、7月には卒後教育研修会と、今年度の事業も随時実施しております。ご参加いただいております皆様、またご協力いただいております関係各所の皆様には、心からお礼申し上げます。では、毎度恒例になりましたが各班の活動情報です。

◎卒後教育班:卒後教育班では7月24日(日)に、卒後教育研修会(コミュニケーションスキル編)を青磁野リハビリテーション病院の徳丸由美子先生を講師に招きまして、西日本リハビリテーション学院にて開催いたしました。多くの皆様にご参加頂き、成功裡に終わることが出来ました。参加者の皆様、ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。次年度も実施されます。コミュニケーションスキルはセラピストにとって大変重要なスキルです。一度で終わらず、何度か参加することで更に磨くことが出来ますので、ぜひ次年度も振るってご参加下さい。

各ブロック・地区でも随時卒後教育研修会(初級編・中級編)が行われる予定になっております。お忙しいとは存じますが、こちらのほうへも是非ご参加下さい。

◎臨床実習教育班:6月に第2回目の班会議を開催し、今年度の研修会の日程が決定しました。第1回目は九州地区臨床実習指導者研修会という事で、九州ブロック会の事業を当班で担当いたします。講師は森の里病院の山口泰成先生と慶応義塾大学病院の小林賢先生の予定です。今までは養成校の先生方の研修が多かったですが、今回は臨床側の視点での研修会11月27日(日)に開催いたします。是非ご参加下さい。

また、「熊本県版スーパーバイザーの手引き」も発送に向けて準備を続けています。もう少しお待ちください。

◎管理・運営教育班:6月20日(月)~21日(火)に管理者教育カリキュラム(第1ステージ)が開講しました。当初20名のお申込を頂いておりましたが、残念ながら1名キャンセルがあり19名での実施となりました。初日は小川克巳先生(日本理学療法士協会副会長)にリハ関連職種の歴史的背景についてご講義頂き、2日目は午前中に岩崎浩思先生(熊本市保健所技術参事)に医療安全・院内感染、午後は吉田道雄先生(熊本大学教授)にグループダイナミクス(対人関係スキル)についてご講義いただきました。受講者の皆様も大変熱心に受講されておりました。今後も良い学びを提供できるように運営してまいります。また、第2ステージの計画も徐々に進行し始めております。ぜひ受講したいという項目等ございましたら、協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは下記E-Mailアドレスまでご意見下さい。

☆もう覚えていただけましたか?教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き(第5版)を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる、基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材(財)育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

を掲げております。

教育部に対する、ご意見・ご要望等ございましたら、私(前田) rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

よろしくお願いたします。

義援金について

この度の震災にて、お亡くなりになった方々並びに被災された方々には謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

当会では震災直後より広く義援金を募りましたところ、会員他多くの方々よりご支援とご協力を頂きました。改めて御礼申し上げます。下記の通り関係の窓口へ送金致しました。尚、日本理学療法士協会は7月15日を期限としておりますが、熊本県理学療法士協会では引き続き募金をお願いしております。宜しくお願い致します。

- ・3/16 送金 熊本日新聞社へ¥46,283
(平成22年度第2回総会時募金 他)
- ・3/31 送金 日本理学療法士協会へ¥1,000,000
(熊本県理学療法士協会より)
- ・7/14 送金 日本理学療法士協会へ¥157,733
(銀行振込・PT あ!っと健康講座募金 他)

日本理学療法士協会第40回定時総会開催

日本理学療法士協会定時総会が6月25日午後東京国際フォーラムにて開催された。議案は、

- ・協会名誉会員の承認を求める件
- ・第49回日本理学療法学会大会大会長の承認を求める件
- ・平成22年度事業報告、決算報告、監査報告の承認を求める件
- ・平成23年度理事及び監事の選出を求める件
- ・平成23年度事業計画、予算案の承認を求める件
- ・定款改正及び役員報酬規程案の承認を求める件
- ・公益社団法人の定款の一部改正を求める件
- ・議事運営委員の選出を求める件
- ・新会長、副会長の承認を求める件
- ・最初の代議員選出規程案に承認を求める件

の10議案であり、質疑応答を経て決議された。当会からは北里・大島・坂崎・田島・野津原・増田の6名が出席した。

『平成21年度 協会会員表彰』の表彰が、5月22日開催された、『平成23年度第1回 熊本県理学療法士協会総会』において執り行われ、1名の先生が『りんどう賞』を受賞されました。

受賞者は、東病院 上村 幸司（うえむら こうじ）先生です。先生は、熊本市南ブロック・ブロック長、学術事業部部員、熊本SPINE勉強会代表など、熊本県士会活動ならびに理学療法士の知識向上に活躍されてきました。よって、会員の模範たるその業績に対し、賞が贈られました。



受賞された上村先生、おめでとうございます。またご推薦いただいた先生方には、大変お世話になりました。

平成23年6月18、19日にかけて新人研修会を開催しました。あいにく天候は雨となり交通渋滞等が予想されましたが、特に問題なく開催できました事を嬉しく思います。さて、参加者の内訳は懇親会参加者が役員・理事の方々が24名、新人の方々が88名となり、宿泊者が役員・理事の方々が5名、新人の方々が42名でした。

来年度新人研修会は平成24年6月30日～7月1日もしくは平成24年7月7日～7月8日の日程で、火の国ハイツにて予定しておりますので、関係各部の皆様方にはご協力の程をよろしく申し上げます。

保険部 部長 江藤 隆夫

皆様お疲れ様です。

私事ではございますが4月中旬に体調を崩してしまい、4月27日(水)に予定しておりました第1回保険診療研修会はやむを得ず中止とさせて頂きました。

43施設100名の方から参加申し込みを頂いておりましたが、本当に申し訳ございませんでした。

この場をお借りしまして深くお詫び申し上げます。

今後の延期開催につきましては現時点ではまだ未定です。10月の第2回研修会は予定通りの開催で考えております。

今年度から研修会の参加につきましては県協会ホームページ(かくどけい.org)からの申し込みとなりますので、開催時期が近づきましたら改めてご案内申し上げます。

今年の夏もかなり暑くなりますので、みなさま熱中症対策など体調管理には十分ご注意ください。

今回のことで健康の有り難さが身にしみて分かりました。

宣伝部 部長 草野 隆夫

6/2(木) 17:30~ 宣伝部会議

22名参加(新人を含む)

- ・新人に対する宣伝部業務の紹介
- ・新人研修会のプレゼンについて
- ・理学療法週間への活動について

6/6(月)~16(木) 新人研修会のプレゼン準備

担当: 林み、工藤

パワーポイントを活用するが、日本理学療法士協会や熊本県理学療法士協会の活動内容に大きな変化があるので、色々と変更部分をチェックする。また、ニコスから楽天カードになるので会費の入金方法や賠償保険への加入方法を注意するように伝える。新人が理解しやすいように作成する。

6/1(水)・22(水) 9:00~

理学療法週間のポスター掲示の抽選会参加

場所: 熊本市役所 11F

担当: 草野

6/1の抽選会は当選。熊本市内のコミュニティボード20箇所にポスター掲示可能。当選当日から3週間の掲

示可能。宣伝部員で分担して掲示する。6/22の抽選会は落選した。そこで、落選した場合の計画で、宣伝部員の行きつけの場所(店舗)への掲示依頼をする。

6/18(土) 17:30~ 新人への入会案内

担当: 草野 (新人研修会にて)

対象: 本年に入会する新人理学療法士

- ・日本及び熊本県理学療法士協会の活動内容
- ・入会においての特典
- ・会費について
- ・理学療法連盟について など

【ユニホームの貸し出し】

H22 6/5 「荒尾市福祉まつり」で使用
県北ブロックからの依頼

7/10 くまもと「PTあ! (ピタ)」っと健康講座
事業部からの依頼
(協会パンフの配布を依頼する)

生涯学習部 部長 星澤 厚志

先日の第1回新人研修会はお疲れ様でした。一泊研修会ということで大変だったと思いますが、懇親会や二次会も盛り上がり、楽しい研修会になったのではないかと思います。ところで、私が説明しました生涯学習システムについてはご理解いただけでしょうか? ご不明な点がありましたら下記の連絡先にご連絡ください。

さて、今後の研修会ですが、講師の先生との日程調整を行っているところです。研修会の1ヶ月くらい前には文書にてご連絡いたしますので、回覧のほどよろしく願いいたします。

〈連絡先について〉

私事で恐縮ですが、職場の都合上、電話での対応が困難な状況です。問い合わせ等に関しましてはメールにてお願いいたします。また、手帳等の送付に関しましては自宅へお送り頂きますようお願いいたします。ご面倒ですが、よろしく願いいたします。

【メールアドレス】

kpta_11e@hotmail.com

【手帳等の送付先】

〒861-8003 熊本市楠7丁目10-8

星澤 厚志 宛

学 術 部

部長 今屋 将美

鬱陶しい梅雨も明け夏本番を迎える今日この頃、会員の皆さまには益々ご活躍のことと存じます。

さて、前号でも告知しましたように8月は理学療法士講習会の開催ならびに第1回学術研修会の募集がいよいよ始まります。下記に進捗状況をお知らせいたします。

○理学療法士講習会（応用編）

期 日：平成23年8月20日（土）-22日（月）

テーマ：徒手理学療法 —Mulligan Concept：Upper Quarter（頸椎・胸椎・肩・肘・手）—

講 師：Toby Hall、Kim Robinson（Curtin 大学）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：40名

⇒現在（7/6時点）、参加申込は31名で定員まで若干の余裕があります。参加希望の方はお早めにお申し込み下さい。

本講習会の特徴は、Mulligan Concept公認講師から直接講義を聴くことが出来ること、英語が苦手な方でも経験豊富な通訳がつきその場で不明な点が解決できること、さらに誰でも即実践できる臨床的な手技が習得できることなど魅力が満載です。是非興味をもたれた方は一度参加されてみてはいかがでしょうか。申し込みは日本理学療法士協会HP（<http://www.japanpt.or.jp>）をご参照下さい。

○第1回学術研修会

期 日：平成23年9月9-10日（土、日）

テーマ：運動器疾患におけるクリニカルリーズニング

講 師：亀尾徹先生（新潟医療福祉大学）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：45名

⇒今号のかくどけいに案内文が同封されていますので詳細はそちらをご覧ください。

全国で活躍される亀尾先生の講義が熊本で聴ける絶好のチャンスです。本研修会は企画当初よりテーマを変更し、クリニカルリーズニングの概念や評価/治療の実際について、症例を提示しながらより臨床に即した講義をして頂きます。皆さんもクリニカルリーズニングという言葉は聞かれたことがあると思いますが、実際に現場でどのように思考を進めていけばよいのか・・・本研修会で日々の臨床に対する悩みや解決の糸口がつかめるかもしれません。更には学生指導などで日々悩まれている先

生方にも臨床推論の具体的な手法が学べるのではないかと思います。実技も十分に実施されますので、是非とも興味のある先生方のご参加を心よりお待ちしております。

また、以下の研修会の準備も着々と進んでおります。今後もかくどけいに進捗状況を記載してまいりますので、会員皆さまのご一読をお願い致します。

○第2回学術研修会

期 日：平成23年11月5-6日（土、日）

テーマ：呼吸理学療法の理論と実践～吸引手技の実践を交えて～（仮題）

講 師：堀江淳先生（神戸国際大学理学療法学科）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

○第3回学術研修会

期 日：平成24年1月29日（日曜）

テーマ：脳生理について（仮）

講 師：高草木薫先生（旭川医療大学）

会 場：熊本保健科学大学

なお、第1回～第3回の各学術研修会の申し込みは、熊本県理学療法士協会 HP より会員ログイン申請を行ってから、会員MYページよりお申し込みいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

事 業 部

部長 保田 佳史

皆様のおかげで無事に第9回くまもと『PT あ！（ピタ）』っと健康講座を終えることが出来ました。ありがとうございました。今後参加人数などご報告させていただきます。

また、9月25日には『介護支援専門員試験対策講座』を予定しております。今年受験を予定されている方、勉強をしてみたい方多くの皆様のご参加をお待ちしております。職場の皆様にも受験を予定されている方がおられましたら 声かけをお願い致します。詳細は後日郵送させていただきます。

学術事業部

部長 岩田 輝彦

第42回市民公開講座 ベッドサイド・リハ

～廃用予防やトランスファーの仕方について～

毎年、看護師・介護士等の医療従事者を中心として行っています市民公開講座ですが、今年で42回になります。ご参加される方を募集していますので、職場の看護師・介護士の方へご周知よろしくお願い致します。

事務局だより

〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
熊本総合医療リハビリテーション学院内
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 5/8 九州ブロック公益法人移行研修会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 5/9 熊本地域リハビリテーション支援協議会役員会
：熊本県医師会館
- 5/18 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 5/22 第3回理事会・第1回総会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 5/26 緊急全国会長会議：宮崎市
- 6/1 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 6/1 第4回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 6/6 熊本県リハビリテーション地域リハビリテーション支援センター運営委員会：熊本県医師会館
- 6/14 公益法人申請打合せ：熊本県庁
- 6/15 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 6/18 第1回新人研修会：火の国ハイツ
- 6/20 管理者教育カリキュラム開講式挨拶
：熊本保健科学大学
- 6/20 肥後医育振興会評議員会：KKRホテル熊本
- 6/22 法人事業審議委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 6/25 第40回日本理学療法士協会定時総会：東京都
- 7/6 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 7/6 第5回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院

会員数 (H23. 6. 30 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 145 名

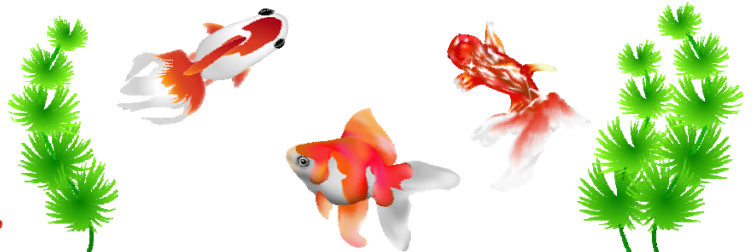
ブロック名	施設数 ()内の自宅会員数 を含んでいます。	会員数
熊本市	246(48)	1149
県北	65(11)	197
八代	71(10)	218
天草	36(1)	82
県南	16(1)	40
合計	434(71)	1686

掲示板

- 「県外異動」、「入会」、「休会」、「復会」、「退会」に関し熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。各種届出書式に関しましては、熊本県理学療法士協会会員名をご参照下さい。ご不明な点は事務局までご連絡下さい。なお、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。
- 平成23年度会費納入について
クレジットカードご利用の方の今年度の会費は、7月27日に口座から引き落としとなります。残高のご確認をお願いします。
- ニコスカード提携終了に伴う手続きのお願い
既にお手元に送付されていますご案内のごとく、会員証カード「ニコスカード」は提携終了になりますので、「楽天カード」への切り替え手続きをお願いします。本年度の会費は、5月末時点で手元にあるカード（楽天カードが優先）からの引き落としとして、二重に引き落とされることはありませんので、ご安心下さい。7月27日以降、ニコスカードの解約をお願いします。
- 会員証について
会員証については、全会員に配付されることになりました。

会費銀行振込先

振込先：肥後銀行 託麻東支店
口座：普通 205019
金額：22,000 円
名義：社団法人
熊本県理学療法士協会
理事 北里堅二
電話：096-389-6463
住所：熊本市小山2-25-35





県南ブロック

新穂 大輔

梅雨も終わり今年も夏の季節になりました。例年よりも梅雨明けが早まり暑く長い夏に悩ませられそうです。震災後の原発問題の影響で日本中で節電が叫ばれるようになり、当院でも今まで以上に照明やエアコンの管理には気を使うようになっていきます。以前からエネルギー問題が取り出されており、この逆境も考えようではエネルギー節約・変換へのチャンスとなるかもしれません。ただ、現時点ではこの状況を乗り切るだけでも大変なことであり、さらに節電を意識するあまり我慢し過ぎて熱中症で倒れる方もでており、節電と健康管理をうまく両立していくことも必要なようです。

さて、県南ブロックの最近の活動ですが、5月に宮崎整形外科医院の今別府 PT・佐藤 PT にて「MTA (マイオチューニングアプローチ)」の伝達講習が開催されました。手技の原理の説明から実技内容も含んでおり、導入の部分であったものの今後臨床での治療の手掛かりとなり得るものでした。また、夏には定例勉強会の開催とともに、恒例の PT・OT・ST の合同懇親会も企画しています。ふるってご参加ください。

これからも会員のみなさんで知識・情報を共有し、より良いブロック活動を展開していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

八代ブロック

塚島 靖博

雨・雨・雨・先日是人吉避難勧告 1200 世帯、球磨川の増水に名物[鮎]も不漁のようです。おかげで裏の畑のきゅうりはうっかり取り損なうとへちま並みに巨大化してしまいます。トマトになすびピーマン大量ゲットです。しその葉っぱも雑草のように大きくなり柔らかい部分を 5-6 枚醤油に漬け込んで、翌朝アツアツご飯に海苔代わりに巻いて食べると食欲をそそります。お刺身のしその葉っぱの残りでもできますよ。是非お試しあれ。

6月3日に宇城地区の会議と新人歓迎会が開催されま

した。前ブロック長高口先生と塚島も参加して 50 人以上の会議参加で、宇城地区の症例検討Ⅱの開催時期や松橋地区 PT・OT 合同会議の件 連絡網と熊本県理学療法士協会ホームページ刷新の件卒後研修会の件などが議題にあがり、お互いの顔が見えるように各施設で自己紹介をしました。歓迎会には 30 名を超える参加があり高口先生の慰労と塚島の歓迎もして頂きました。魚もおいしかったのですが、皆さんの熱い思いも伝わりました。しっかり顔と名前を覚えておきたいと思えます。

学術部卒後研修会は県南ブロックと共同開催で 8 月 28 日八代総合病院でラポール形成とリスク管理を予定しております。また、詳細は決定していませんが 11 月に全人間的アプローチ 危険予知トレーニングの開催予定となっています。今年度は新人も多く参加者が多くなりそうです。

今年の夏は暑くなりそうですね。皆さま、体をいたわりながら仕事に遊びに精出しましょう！

天草ブロック

水田 順司

今年は梅雨入りした後より、各地にて豪雨が降り注いでおりましたが、皆様の地域は大丈夫でしょうか？天草においては甚大な被害もなく安心している所です。

さて、天草ブロックの活動報告ですが、5月13日(金)に 43 名もの先生方にお越しいただき、天草ブロック全体会議と第 1 回定例勉強会を開催いたしました。内容は今年度から新体制でブロック運営を行いますので、新執行部の紹介から始まり、私が担当させていただき「天草ブロックの組織形態と活動について」と題しまして、日本理学療法士協会の動向や今後の課題を半田会長の言葉を引用させて頂きながら、私たちが置かれている状況や私達一人一人がもっと協会の活動に積極的に参加する必要がある事などについて話をさせて頂きました。資料作成にあたり調べれば調べる程、今私達の置かれている状況は厳しいものがあるというのを痛感しました。

6月10日(金)には第2回定例勉強会を開催し、天草市立牛深市民病院の池田仁亮先生に「運動療法に必要な触診とその考え方」について講義をして頂きました。講義の内容は理学療法を行う上で欠かせない触診の技術について、触診に必要な考え方から、触診の仕方について講義して頂き、実技では 2 人ペアにて前腕を圧して皮膚・軟部組織・骨を触り分けや骨盤帯周辺の触診、股関節・膝関節・骨盤の動きについて行いました。当日は 29 名の先生方や学生にも参加頂き、盛況の中終了いたしました。今後の診療にも是非生かして頂けたらと思います。

今後の予定としましては、7月は第2回定例勉強会の講義を生かして、天草市立牛深市民病院の土佐太志先生に講師をお願いして「関節可動域制限の種類と検査について」講義をして頂きますので、皆様ご参加の程よろしくお願いいたします。また、県協会ホームページ上にも勉強会の案内を載せており、そちらからも参加申し込み可能ですので、是非活用下さい。

8月には恒例のサマーレクレーションを開催いたします。グリーンボールを使ったソフトボールを行う予定です。詳細は後日連絡いたしますので、多くの方にご参加頂き、親睦を深めればと思います。

最後になりますが、第16回県学会の準備も着々と進んでいる状況です。今回、県学会としては初の市民公開講座も予定しております。2月19日には多くの会員にお

越しいただければと思いますので、ご協力をお願いいたします。また、7月より協会ホームページにも学会のページができ、そちらでも様々な情報を発信していきますので、皆様ご覧ください。



【第1回定例勉強会・全体会議】

学会・研修会のお知らせ

介護教室

「障害を持つ子供たちの理解」

熊本県内各地で開催してきました障害児の就学に向けた介護教室を今年度は熊本市で開催します。お問い合わせの上、是非ご参加下さい。

テーマ：「障害を持つ子供たちの理解」

～乳幼児期の発達特徴とその支援～

開催日：平成23年8月28日（日）9:00～15:00

会場：学校法人 立志学園

九州中央リハビリテーション学院

〒860-0821 熊本市本山3-3-84

TEL 096-322-2200（代）

講師：坂本友昭氏（心理療法士）

浪本正晴（理学療法士）

内容：講義及び実技

対象：熊本市内の学校教諭・保育士・関係者

定員：100名

参加費：1000円

締め切り：平成23年7月29日（金）

参加申込み・問い合わせ：

聖ヶ塔病院 リハビリテーションセンター

理学療法士 伊藤 潤

TEL 096-276-1151

FAX 096-276-1150

福祉研修会

「地域リハにおける理学療法の展開」

平成24年度の医療・介護同時改定を含めて、今後のよりよいリハビリテーションの提供等に関して皆様方と一緒に考えていけるような研修会を企画しました。お問い合わせの上、是非ご参加下さい。

テーマ：「地域リハにおける理学療法の展開」

開催日：平成23年9月3日（土）14:00～17:00

会場：学校法人 银杏学園 熊本保健科学大学

〒861-5598 熊本市和泉町325

TEL 096-275-2111（代）

講師：妹尾弘幸氏

（株）QOLサービス

対象：医療関連職種

定員：120名

参加費：会員 1000円 非会員 2000円

締め切り：平成23年8月26日（金）

参加申込み・問い合わせ：

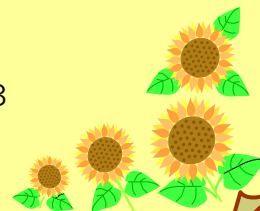
山鹿温泉リハビリテーション病院

総合リハビリテーションセンター

理学療法士 木原伸一

TEL 0968-43-4151

FAX 0968-43-4153



学術事業部 文献紹介

『ハート先生の心電図教室 改訂第3版』

～基礎と不整脈編～

編集：心臓病看護教育研究会

出版：医学同人社

この書籍は「心電図」という言葉を聞くだけで、難しい、解らない、出来れば避けて通りたい、と思う人達への心電図入門書です。全国各地で開催している「動画による目で見る心電図セミナー」で使用したテキストと、その講義内容を解り易く再現できるよう編集し、かつストーリー性を持った漫画で解説しており、今までの医学関係書物はない全く新しい教育教材です。心電図について病院をモデルとした話として展開し、その中で学習していく新人ナースが成長していく過程を描いています。また、“基礎と不整脈”というCD-ROMもセットになっているため、紙面で解りにくい所を動画で確認することも出来ます。

<主要目次>

- I 心臓の主な働き
- II 心電図について
- III 不整脈について
- IV ペースメーカーについて
- V 電解質異常と心電図変化
- VI 抗不整脈薬
- VII ECG case training

【付録】略語集・CD-ROM

大きく上記の項目に分かれており、心臓の働きの基礎から臨床で目にする不整脈まで描かれています。心臓全体を病棟に例え、洞結節、房室結節をそれぞれ婦長さん、主任ナースに例えて説明してあるため、医療従事者にとって身近であり、苦手意識がある人にも読みやすく理解しやすい本になっています。また、心電図波形の見方の要点を理解した上で、巻末に問題形式で実際の心電図波形が20題載っているため、自分で理解できているか確認する事が出来ます。CD-ROMで不整脈の心電図と刺激伝導路の関係性を動画で確認することもできイメージしやすくなっています。今から心電図の勉強を始めようとする人や、心電図に苦手意識がある人にオススメの一冊です。(文責：内田 奈津子)

『皮膚運動学』 ～機能と治療の考え方～

編集：福井 勉 (文京学院大学)

出版：三輪書店

本書のタイトル“皮膚運動学”をみてイメージできる方は少ないのではないのでしょうか？関節や筋といった運動学ではなく、皮膚？・・・私自身、頭の中にはなマークが浮かびました。筆者の福井先生は、皮膚から関節運動および動作機能の改善を図るといった治療方法を紹介されています。皮膚には運動によりさまざまな部位で皺が観察されます。その皺に着目して、皮膚を伸張や弛緩誘導することで関節運動の改善が可能なが述べられています。

本書の主要目次として、
第1章 皮膚運動の理論
第2章 運動器疾患に対する治療への応用から構成されています。

第1章「皮膚運動の理論」には、皮膚運動の特徴、基礎、原則、運動器疾患への適応について書かれています。実際に皮膚の動きをマーカーし、3次元動作分析装置を用いた研究結果から科学的に解説されています。その内容の一つとして、「皮膚は関節運動の骨どうしが近づく場合には遠ざかる方向へ、また骨どうしが離れる場合には近づく方向に移動した」と述べられています。この結果をもとに皮膚運動の原則が5つ提示しており、運動器疾患への適応へと展開されています。

第2章「運動器疾患に対する治療への応用」には、関節運動の改善に対する各関節別の具体的な治療法や症例紹介、今後の展望が書かれています。たとえば、足関節背屈制限に対する可動域改善方法として「足関節前面からは、皮膚を離すように誘導し、アキレス腱部に皮膚が集まるように誘導する」ことで、効果が得られることが紹介されています。実際の現場でもすぐに実践できる内容です。

本書は一見理論書のように見えますが、治療技術を図や写真で解説しており、理解しやすくまとまっています。筆者自身がいうように、皮膚運動学はまだ未発展の分野で、とても興味深い内容です。新たな治療アプローチとして、理学療法士の皆さんに一読をお勧めします。(文責：立川 都美)

大 観 望

『「仁」とは』

庶務部部长
熊本総合医療リハビリテーション学院
福島 芳子

医療の道に入ったためか、はたまた臨床現場にいないためか、医療系のドラマや福祉関係のドキュメンタリーなどは興味を持って見ることが多い。その中で、最近、最終回を迎えたTBS系のドラマ「JIN-仁」にしばらくハマってしまった。

最初は、現代医療を江戸時代にどのように用いていくのかということに興味があった。手術や治療の場面では細菌感染が心配な場面も多々あったが、そこは「ドラマ」として流しつつ、楽しむことにした。回を重ねていくうちに、いろいろなことを学び、考えさせられるドラマであることに気づいた。けがや病気で苦しむ目の前の患者を全力で「助けたい」と取り組む医療関係者を表現したドラマはたくさんあった。でも、これは何か違う。「仁」という言葉を調べると「愛情」「慈しみ」「思いやり」ということばが並ぶ。さらに広辞苑では「礼にもとづく自己抑制と他者への思いやり」と記載されている。そう、「自己抑制」ばかりのドラマである。いや、「自己犠牲」かも・・・。

今の私たちに自分の気持ちや都合をここまで抑えて他人に向き合うことがあるだろうか。それは仁先生だけではない。江戸時代という時代背景から、当たり前のように描かれているが、武士の精神、支える女性たち、あらゆる場面でその精神力の強さと賢さに感動してしまう。

自分の思いや望みを押さえ、人のために誠実に尽くす。そこには、利得も計算もなく、ただ、物事に誠実に向き合う姿が描かれている。その姿に皆が信頼を感じ、手をさしのべていく。そして、差し出された協力という手を当たり前と思わずに素直に感謝する気持ちをもつ。儒教では人間の行うべき最高の徳、至高の徳が「仁」である。武士道では、この仁とバランスよく正義・道義を持つことが必要とされるそうだ。

何でも物が揃い、不自由しない現代の生活では忍耐力が育ちにくい環境であると思う。しかし、時代は変化しても、欲をださず、誠実に真摯に人や物事に向き合っていくこと、「礼にもとづく自己抑制と他者への思いやり」は最高の徳には変わりはないと感じた。

『最近の出来事...』

厚生部部长
医療法人山部会 竜山内科リハビリテーション病院
藤原 慶太

6月18、19日の2日間にかけて、平成23年度の新人研修会が火の国ハイツにて開催されました。我々、厚生部も懇親会と宿泊の受付をさせて頂きました。役員の先生方と新人の方々、たくさんのご参加ありがとうございました。そして新人研修会お疲れ様でした。

さて、今回の新人研修会に参加させて頂いて感じたことがあります。それは、研修会参加人数が増加していることと、今後、セラピストとして過ごしていくことに対して危機感を感じました。

以前までは理学療法士の需要があり、セラピストの数が少ないと言われていました。しかし、現在は、セラピストの養成校の増加と共に新人のセラピストの数も増えており、「セラピストがこれ以上必要ない!」ということもそう遠くない話だと思います。そういった中でセラピストの養成校は他の養成校との競争に勝つために、より質の高いセラピストを医療界に放出するようになると思われます。そのことから私は、「セラピスト同士の競争」に競り勝つためには、今まで以上に目標を高く持ち質の高い治療を患者様のために提供し、自分の為には選ばれたセラピストになることが必要だという「自己中心的」なことを考えてしまいました。しかし、「新人教育プログラム」によると新人の教育は先輩セラピストの義務です。そういったことを考えると競り合うのではなく、各々が得られたものを共有しお互いを高め合うという考えが今後、自分たちセラピストにとって重要だと改めて思いました。今までの自分の「理想のセラピスト像」を見直し、仕事に取り組んでいきます。

さて、これから夏本番を迎え、ますます暑さが厳しくなっていきます。そんな中で現在、日本では東北大震災の影響で「節電」が呼び掛けられています。職場だけでなく自宅でも節電される方はいらっしゃると思いますが、暑さを我慢して熱中症など、体調を崩すことのないようしっかり体調管理を行い健康的に過ごしていただきたいと思っております。



心士会 便り 福岡

『アクティブセラピスト』

先日開催された「新人オリエンテーション」に、過去 30 年で最低の国家試験合格率 74.3%の難関を突破した 477 名の「フレッシュ理学療法士」が参加してくれた。彼らの自信と希望に輝き、自らの前途に何の疑いも持たない純粋な目を見たとき、私は当日の講義内容を変えざるを得ないと決心した。

日本理学療法士協会や福岡県理学療法士会の必要性を語るとともに、彼らと一緒に理学療法士の明るい未来を築き上げるためには今、何が必要なかを伝えようと思った。彼らへのメッセージ、その時伝え切れなかったことをここで綴ろうと思う。

理学療法士として 30 年を迎える今、自信を持って言えることが一つだけある。医療・保健・福祉の分野において、理学療法士ほど優秀で有用な職種は他にないということだ。その知識と技術をフルに発揮できたなら国民の信頼に十分応えることのできる職種である。この 30 年間の医学の進歩は著しく、リハビリテーション医学や地域リハビリテーションの考え方も非常に発展してきている。近年のリハビリテーション教育はとても大変だと思う。我々の時代の数十倍の知識を学ばなければならない。基礎知識として覚えることも他の職種（コメディカル）に比べるとはるかに多い。養成校での学習は受験勉強の比ではないし、おそらく人生で一番勉強した時代になってしまうのかも知れない。

私自身は学生時代さほど勉強もせず、臨床に出てそれを悔やみ、ゆえに食欲に書を読み、治療に創意・工夫を凝らし、ひたすら感性を磨くことに奔走した。さまざまな

スポーツに挑戦し、さまざまなジャンルの音楽を聴き、さまざまなアーティストのライブを見聞きし、映画を鑑賞した。ルーブルやプラド・メトロポリタンなどの美術館にも足を運び、いくつかの世界遺産も訪ね歩いた。何が解かった訳でもなく、自分が大きく変わった訳でもないが、「なるほど」と謙虚に受け入れる心と、「感動」する素直な心を得たような気がする。

医学的な「知識と技術」は経験を積み重ねていけば良い。今、理学療法士に足りないものがあるとすれば、それは「豊かな心」と「感性」だと思う。パッシブな人生からは何も生まれない。きっかけは何であろうと、時期が早かろうと遅かろうと、自ら考え動くことがとても大切であることを伝えたい。

「祖国があなたに何をしてくれるかを問うのではなく、あなたが祖国のために何をできるかを考えてほしい」

第 35 代大統領 J.F.ケネディの就任演説の「アクティブ・シチズン」の言葉である。

理学療法士の使命は、第一に事故や疾病で障害を有した患者の機能回復であり、そのための研究・教育である。それと同時に、どれだけ有用な職種であるかを国民に理解してもらうことである。みなさんが理学療法士のため、理学療法士の将来のために何ができるかをともに考えよう。アクティブ・セラピストであろう。

(福岡 No.182 より抜粋)





『第 46 回日本理学療法学術大会に参加して』

熊本リハビリテーション病院 山崎 慎介

平成 23 年 5 月 27～29 日に宮崎県宮崎市シーガイアコンベンションセンターで開催された、『第 46 回日本理学療法学術大会』に参加しました。今大会のプログラムは、オープニングセミナー・大会長講演をはじめ、各専門領域の研究部会による特別講演や一般演題（口述発表・ポスター発表）で構成されていました。また、今大会の特長として臨床経験 3 年目以下で構成されるフレッシュセッションが設けられていました。

私は教育・管理理学療法フレッシュセッションにてポスター発表を行いました。発表は初日の午後からであり、セッションが始まるまでは特に緊張もせず、リラックスできていました。しかし、自分の順番が近づくと緊張からか喉がカラカラになりました。そして発表が始まると、発表する口元は震え、指し棒を持つ手も目標が定まりません。これではいけないと思い、とりあえず声を大きく出し緊張しているのを悟られないようにしました。その後は早いもので、あっという間に 6 分経過し発表終了。質疑応答では、座長の先生より質問を頂きました。質問に対する返答として少し脱線したところもありましたが、今研究を通して私自身が思ったこと、感じたことを伝えることができました。また、座長の先生より今後の取り組みに対するアドバイスも頂き、今後も継続して研究に取り組んでいきたいと思いません。

学会の楽しみの一つとして、学生時代の恩師・同級生・先輩・後輩との再会があります。居酒屋に集合し、それぞれの近況報告や情報交換、そして学生時代の思い出話をしたり話のネタはつきません。以前は、主に学生時代の思い出話が多かったのですが、経験年数が上がるにつれ仕事の話が多くなっている気がします。話をする中で、他の病院・施設等で活躍している同期の話はとても良い刺激になります。

臨床経験 4 年目に入りになりましたが、今後も互いに切磋琢磨し日々の業務に取り組んでいきたいと思いません。

『第 12 回日本関節運動学的アプローチ医学会 理学・作業療法士会学術集会に参加して』

済生会みすみ病院 柳田 亜矢子

先日、福岡県で開催されました第 12 回 AKA - PTOT 会学術集会に参加してきました。AKA 学会とは・・・まず簡単に紹介させて頂きたいと思います。その内容としましては例年、①教育講演（AKA - 博田法の基礎理論：関節運動学・骨運動学・関節神経学、治療目的・内容など）②会頭の博田節夫先生による特別講演③一般演題発表などが行われています。九州福岡での開催は今回で 3 度目となりますが、教育（基礎講演）・特別講演（博田先生による AKA - 博田法と ANT の技術）やワークショップ形式での指定・一般演題発表などますます熱く、本当に充実した内容となりました。

AKA - 博田法には運動療法と徒手療法の二つの側面がありますが、有痛性疾患への著効性があるため、後者の徒手医学としての印象が強い方も多いのではないかと思います。しかしながら、本来物理医学を基礎として開発された運動療法技術であり、また関連技術である ANT は運動療法・動作訓練技術です。わたしたちがこれらの治療を用いる場合、運動療法・運動性作業療法・動作訓練など物理医学としての適用が多くなります。前年東京で開催されました学術集会では、今後 10 年間の課題をテーマに「技術の習得」であるとされました。今回は、「技術と臨床効果」というテーマを元に、密な技術内容から実際の臨床・治療・効果場面を多く提示頂きました。また、ディスカッション形式となっており、多くの先生方と意見交換を行うことができました。

懇親会では、会頭の博田節夫先生とお会いすることができ、その真摯な対応やお話にも胸がいっぱいになりました。わたしは、AKA - 博田法を勉強させて頂いて 5 年程ですが・・・技術や知識はもちろんのこと触診やその他評価など、その重要性を改めて感じることが出来ます。そして、素晴らしい指導者の先生方々と出会うことができ、心から感謝しています。この文書を読んで頂いた方々、機会がありましたらぜひ研修会や学術集会に参加されてみてください。

第1回新人研修会印象記

あそうだ整形外科クリニック 徳原 絵理

熊本県理学療法士新人研修会を受け、資格を取得した今、社会にどう貢献できるか、理学療法士としてこれからどうするべきかを改めて考えさせられました。北里堅二先生の講義でも述べられていたように、2011年3月11日に発生した東日本大震災という日本にとって厳しい状況の中、理学療法士として何をすれば社会に貢献できるかを考えました。理学療法士一年目であり社会人としても未熟である私に出来ることは、目の前にいらっしゃる患者さんを見つめることではないかと考えます。このことが直接には震災の復興に貢献できないと思います。しかし、一步一步でも目の前の問題を解決することは社会としては少しでも役に立っているのではないかと考えます。理学療法士の数が年々増えているなか、確かな専門性と技術がさらに要求されています。これらを着実に身に付け理学療法士として日々精進していきたいと思っております。

杉村病院 中島 みなみ

今回第一回新人研修会に参加させて頂きました。約180名の新しい理学療法士が、これからの未来に精進すべく頑張っている次第です。北里先生や小川先生の講演を聞かせて頂いて、現代の社会は老人や障害者にとっていかなるものか？様々な社会問題の中で理学療法士はどうあるべきかを常に心にとめ、私達は可能性に満ちたプロフェッショナルとして社会に貢献していかなければなりません。また、リハビリテーションが目指すものとしてすべての人が「普通の生活」をすることであり、障害のある方が生き活きと生活できるよう社会の中でリハビリを提供することが必要であると感じました。理学療法士協会という一つの専門職団体は県から国へ、国から世界へとセラピストがお互いに手を取り合い、人々がより良い生活を送ることが出来るよう努めていかなければならないと感じました。今回の研修会で感じた事を活かし活気溢れる理学療法士になれるよう頑張りたいと思います。

熊本リハビリテーション病院 赤崎 将太

今回の新人研修会を受講し、「理学療法士とはどういった職業であるか」という原点を今一度考え、理学療法士という職業の奥深さを知る事が出来たと感じています。一言で理学療法士といえども業務内容は多種多様で、私の知っているものはほんの少しの事であったのだと痛感させられました。講義を聞き、今後も理学療法士の責務である勉強に取り組み、仕事に対する熱意を持ち患者様へ貢献できる様にしていきたいと考えました。また、研修会や勉強会等に積極的に参加し、専門分野にも取り組んでいきたいと考えています。現在、社会人としても一年目であり右も左も分からない私には今回の研修会は非常に実りのあるものとなり、同期である仲間達と日々切磋琢磨し合い、業務に励んでいきたいと改めて考えました。理学療法士が増加の一途を辿る中でも、必要とされる人材になれる様今後も自己研鑽を続けていきます。

熊本リハビリテーション病院 山内 彩華

6月18・19日に熊本で開催された第1回新人研修会に参加しました。理学療法士として働き始め約3ヶ月が経ちましたが、まだまだ分からないことも多く勉強の日々です。毎日が精一杯の今、新人研修会に参加したことで「理学療法士としてどうあるべきか」を考える良い機会となりました。学生の頃は臨床実習や国家試験など理学療法士になるために様々な経験をしてきました。今やっと、理学療法士として歩いていく第1歩を踏み出せたばかりです。日々進歩していく医療に携わる者として知識・技術向上のために、より多くの勉強会に参加し最善の医療を提供できるよう努力を積み重ねていかなければならないと感じました。

今後スタッフや患者様から信頼され必要とされる理学療法士になるために、まずは早く業務を覚え1人で確実に行なえるようになることが大切だと思います。またどんな時でも謙虚さを持ち、患者様の目線で物事を考えられる理学療法士になりたいと思います。

成尾整形外科病院 久保 晃弘

北里会長はじめ多くの先生方の講義をお聞きし、昨今の医療・保険・福祉制度は著しく変化しており、訪問リハビリステーション設置に向けての活動など、理学療法士協会全体で職域確保、拡大に取り組む必要性があると感じました。また現在、私自身含めて理学療法士の数は急激に増えており、理学療法士としての質の向上が問われています。その状況のなかで新人としてできることはまず目の前の患者様に対して全力で向き合い、患者様に理学療法士という職業の必要性を感じて頂き、益々普及していくことが大事ではないかと思えます。

北里会長のご講義でのお言葉を胸に私も患者様に寄り添うことのできる理学療法士を目指して、新人合同研修会に参加した多くの仲間達と共に知識・技術の研鑽に努めたいと考えております。

今後、理学療法士の発展に寄与できるように頑張りたいと思えます。お忙しいなか二日間にわたり新人研修会を開いて頂きありがとうございました。

谷田病院 小篠 亮太

今回、新人研修会に参加し、協会の成り立ちから政治・法律、社会の中での理学療法について講習をして頂きました。臨床に出て約3ヵ月が経ち、改めて理学療法士の一員としてスタートしたのだと実感したのと同時に、理学療法士が直面している問題に向き合う必要があると感じました。具体的には特定看護師や柔道整復師の話があり、理学療法士の職域を守るためには医療制度や法律の改正が必要であると知りました。私は、今まで意識の薄かった選挙での一票が重要になってくると認識しました。また、理学療法士が社会的立場の向上のために地域社会の中で欠かせない人材と認められるように日々努力することが大切だと思えました。

今後、私は治療の質を高めるために研修や研究に励み、知識と技術、専門性を追求していき、患者様一人一人と向き合い成長していきたいと思えます。今回の新人研修で感じ、学んだことを忘れず日々の業務に全力を尽くしていきます。

谷田病院 松江 公貴

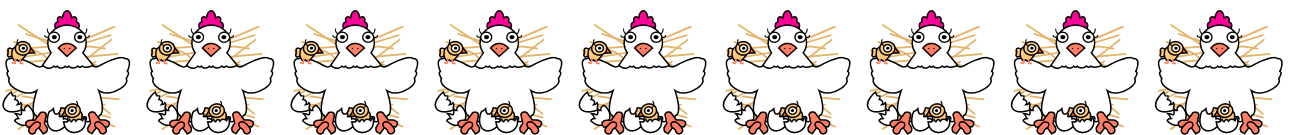
今回、二日間の新人研修会に参加しました。今回の研修の中で理学療法士の位置づけや他部門との連携の大切さを認識しました。それに伴う社会人としての責任、一人の治療者として患者様とどう接していくことが望ましい理学療法士の姿なのかを学びました。

国家資格を取得した事で安心するのではなく、患者様を思い勉学に励む事が大切であると思えます。また、理学療法士としての言動には責任があることを認識し患者様と接していくことが社会人又は理学療法士として大切であると思えました。

これから治療させていただく患者様をしっかり見つめ業務に取り組んでいきたいと思えます。そして理学療法士として恥じない理学療法を提供できるよう自分が今出来ることの幅を徐々に広げていきたいと思えます。更には理学療法士協会の動向にもしっかりと耳を傾け、専門理学療法士を目指したいと思えました。

メディカルケアセンターファイン 佐藤 史記

今回の新人研修に参加させて頂き、理学療法士としての役割や組織体系、多職種とのかかわりについて学習しました。入社して2か月とまだまだ日が浅く、日々の業務に追われ、今後、理学療法士として自分がどういう風に進んでいくのか、患者様やその御家族、多職種の方々とどのように関わっていくべきか等について、ゆっくりと考える事が出来ていなかったもので、良いきっかけとなりました。講義の中でも特に考えさせられたのは、他職種との職域争いの事についてでした。各職種がそれぞれ職域を広げる事で、その専門性を守ったり、向上させたりしている・・・という様なお話を聞いた時に、それが、患者様やご家族の方々の意に添った活動でなければ、何の意味もないように感じたからです。これから理学療法士として活動していく中で、自分たちの専門性を守っていく事も大切ですが、その事で患者様が不利益を被らないよう、常に考えながら活動していきたいと思えます。





「熱中症」

今回は熊本県理学療法士協会のスポーツ小委員会が熱中症について情報を提供します。

最近のニュースでも毎日のように熱中症という言葉を目にします。以前に比べれば熱中症という言葉が世間に浸透してきましたが、まだまだ理解が浅い部分も多いのではないのでしょうか。熱中症は、暑い環境下で生じる障害の総称をいい、①熱失神 ②熱疲労 ③熱けいれん ④熱射病の4つに分類され、それぞれ対策、応急処置が異なる場合があります。

①熱失神とは、暑い環境下では体温調節のため血管が拡がり血圧が低下し、脳への血流量が低下し「めまい」や「失神」などの症状がみられます。

②熱疲労とは、脱水状態によって引き起こされる「脱力感」「めまい」「吐き気」などが主な症状です。

③熱けいれんとは、大量に汗をかいた時に水だけを補給していると、血液中の塩分濃度が低下し、足や腕、お腹の筋肉などに「けいれん」が起こることをいいます。

④熱射病とは、体温が異常に上昇し脳を含めた中枢機能に異常をきたした状態です。意識障害と体温上昇（40度以上）が特徴で、最悪の場合は死に至る重症な熱中症です。

①熱失神、②熱疲労の応急処置は、涼しい場所で衣服を緩めて寝かせ、水分を補給します。また両足を高くあげることで脳への血流を確保できますので、あわせて対処しましょう。

③熱けいれんの場合は、塩分の含まれた水分を補給することで回復します。市販されているスポーツドリンクには塩分が含まれているものもありますので、補給に使用できます。

④熱射病の発症した場合は、早急な治療が必要となるため、病院への搬送が必要になります。なるべく体温を下げるように、全身に水をかけたり、わきの下や大腿部の付け根や首まわりを氷のうや濡れタオルで直接冷やし、扇ぎながら一刻も早く病院へ運んでください。

熱射病は死亡する危険性のある疾患であるということを認識しておきましょう。

なかなか現場で症状を判断するのは難しいと思いますが、高体温と、意識障害（言動がおかしい、受け答えが鈍い、意識がないなど）がある場合は、重症と考えて対処するよう心がけましょう。

熱中症は、高齢の方や肥満のかた、体力のないひと、暑さに慣れていない方などは特に注意が必要です。こまめな水分補給や衣服の調整、体調管理など予防の意識を高くもち、自己管理をしっかり行いましょう。

熱中症は予防が重要であり、そのためには正しい知識と、対策（応急処置）がひとつになります。そこで日本体育協会がまとめる『スポーツ活動中の熱中症予防の8か条』というガイドラインがあります。より詳しく熱中症について知りたい方は、日本体育協会のホームページからアクセスできますので、特にスポーツに携わる指導者、トレーナー、ご家族の方は参考になるとと思いますよ。



医療・介護ナビ

お役立ち便利グッズ紹介

簡単に中身がすくえる

食べ物を最後まですくえないなど、普通の食器では食べにくいと感じることはありませんか？

やさしい食器は自然な動作で食事をしやすいように、こぼれにくく、すくいやすい形状なっています。丸い皿の内側は四角で縁も垂直になっているので、握力が弱くても、どのコーナーでもスプーンなどを押し付けると簡単に中身がすくえます。

食器の裏側は滑り止め付き。片手で食事をしてもズルする心配がありません。また、電子レンジも大丈夫。食器洗浄機にも対応しています。

他に他社から、有田焼特殊軽量磁器製、独特の「返し」があるものなどが出ています。サイズもいろいろありますよ。



やさしい食器

寝たきりの人にも重宝

目薬をさす時に手が震えてなかなか思い通りにさせなくて困っていませんか？

「ニューらくらく点眼」は、写真のように点眼瓶が器具の穴にしっかりと固定されているため、点眼瓶の先で眼球を傷つけることなく、誰でも簡単に点眼できます。また、点眼瓶の先が目につれないので細菌感染を防ぎ、清潔で安全です。

使い方はまず、らくらく点眼のふちを眉毛の下に当て、しっかりと固定して穴に点眼瓶を固定します。後は頭を後ろに反らし、目薬が真下に落ちる位置に設定すれば、確実に眼球に点眼できます。

処方薬でも市販薬でも、どちらでも使える点眼補助具で、寝たきりの人に目薬をさす時も重宝します。



ニューらくらく点眼

濡れてもすばやく吸収

せきやくしやみ、笑いでおしっこが漏れる、一日に何度もトイレに行く、トイレに間に合わず漏れてしまうなど、尿失禁は多くの女性が抱える悩みです。外出や旅行をあきらめる人も珍しくありません。

「ウエルレディ」は軽失禁用の吸水ボクサーショーツ。おしっこをすばやく吸収します。くしゃみやカンドときの失禁量は五ミリ（小さじ一杯）程度といわれますが、ウエルレディの吸収量は三十ミリなので、漏れることなくサラッと快適。また、抗菌消臭繊維がにおいの発生を抑えるので、この季節も安心です。

見た目は普通の下着と同じで柔らかい肌触り、伸縮性もあって履き心地もよいですよ。



ウエルレディ

PT Walker 熊本

くまもとの理学療法情報

★訪問リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という専門職が、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）を訪問して行われる、心身の機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とするリハビリテーションをいいます。

訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りです。

★介護予防訪問リハビリテーション

介護予防を目的として、一定の期間、利用者の居宅で提供されるリハビリテーションをいいます。介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について、厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りです。

県内で理学療法士が訪問リハビリテーションを行なっている施設を地区ごとに紹介します

訪：訪問リハビリテーション 予：介護予防訪問リハビリテーション

◆熊本市ブロック北地区

- 武蔵ヶ丘病院 訪 予
- 合志第一病院 訪 予
- 竜山内科リハビリテーション病院 訪 予
- 介護老人保健施設
- 朝日野総合病院 訪 予
- ケアビレッジ箱根崎 訪 予
- 北部病院 訪 予
- 介護老人保健施設 かなこぎ苑 訪
- 北部脳神経外科・神経内科 訪 予
- 介護老人保健施設 清雅苑 訪 予
- 森田整形外科医院 訪 予
- 介護老人保健施設 みつぐ苑 訪 予



熊本県介護サービス情報公表センターより(平成23年2月現在)

第16回熊本県理学療法士学会のお知らせ

第16回熊本県理学療法士学会 学会長 江崎 重昭

会員におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

現在、天草ブロックでは第16回熊本県理学療法士学会の準備を着々と進めております。

今回の学会の趣旨は、①新人の育成②理学療法士としてのアピールです。新人の育成に関しては、口述発表の後に十分な時間を設けて意見交換をします。ぜひ新人の方は、今回の学会発表でいろんなアドバイスを受けてみませんか？ また、諸先輩方には新人の先生方が発表されますので、いろいろな方向から見たご指導をお願いします。

理学療法士としてのアピールに関しては、まず始めに「理学療法士は何を求められているのか」を調査するために、天草市民に対して街頭アンケートを行いました。その結果、腰痛に関する疑問・質問が多いことから、今回県学会では初めてとなる市民を交えた公開講座を企画しました。公開講座では、熊本県下でご活躍の理学療法士の方々をお招きして、第一部は理学療法士の現状と課題について知っていただく。第二部は、腰痛に関する総論から各論を取り上げて、疑問・質問にお答えする。また、腰痛以外のご相談に関しても、県下の小委員会（呼吸・小児・糖尿病・スポーツ）部員の方々にご協力いただき、理学療法士はこんなことができるんです！ という、パフォーマンスを前面にだしてゆきます。会員の皆様には、今回の天草ブロックの取り組みを、是非見ていただきたいと思っております。

天草という遠方ではありますが、会員はもとよりご家族の方々、ひいてはご一族そろってのご参加を心よりお待ちしております。

情報提供ブース参加グループ募集について

第16回県学会でも昨年と同様、県内の研究会・勉強会の紹介ブースを設けます。昨年の県学会にて刺激を受け、新しく活動されている研究会・勉強会の活動の報告も大歓迎です。是非この機会をご利用頂き、各グループ同士の交流を深め刺激し合える機会となる事を願っております。ただし、今回は会場の都合上各研究会・勉強会毎の場所がとれませんので、チラシのみの案内となりますので、ご了承下さい。

募集目的

研究会・勉強会の活動報告・勧誘等

募集対象

熊本県理学療法士協会が主催または参加している研究会及び勉強会

募集期間

平成23年7月1日～9月30日

展示方法

各研究会・勉強会にてチラシを作成して頂き、準備委員の方で展示させていただきます（事前郵送可能。当日持参されても構いません）

応募方法

- 1) 研究会・勉強会名
 - 2) 氏名（研究会・勉強会の代表者）
 - 3) 連絡先（所属、住所、TEL）・e-mail アドレス
- を明記の上、下記申し込み・問合せ先までご連絡下さい

申し込み・問合せ先

第16回熊本県理学療法士学会準備委員会 展示担当：山本龍誠

天草市立河浦病院 リハビリテーション科

〒863-1215

熊本県天草市河浦町白木河内223-11

Tel：0969-76-1151 Fax：0969-76-1199 e-mail：nakashiki-ke@city.amakusa.lg.jp



国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)
熊本キャンパス (熊本県熊本市)

【修士課程】保健医療学専攻

看護学分野
ナースプラクティショナー
養成分野
助産学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
放射線・情報科学分野
リハビリテーション学分野
生殖補助医療胚培養分野
視機能療法学分野

医療福祉学研究科

【博士課程】保健医療学専攻

看護学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
視機能療法学分野
創薬育薬医療分野
医療福祉経営学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
生殖補助医療胚培養分野
医療福祉国際協力学分野



平日夜間・土曜開講で働きながら修学可能!
短大卒・3年制専門学校卒で進学可能! (修士課程)

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

【修士課程】医療福祉経営専攻

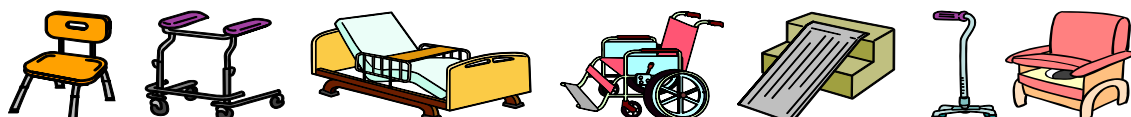
医療経営管理分野
診療情報アナリスト
養成分野
創薬育薬医療分野
がん薬物療法学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
医療福祉ジャーナリズム分野
医療福祉国際協力学分野

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

【福岡天神キャンパス】〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1
TEL:092-739-4321 E-mail:fukucamp@iuhw.ac.jp
【大川キャンパス】〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL:0944-89-2000 E-mail:oocamp@iuhw.ac.jp
【熊本サテライトキャンパス】〒861-8045 熊本県熊本市小山2-25-35(熊本総合医療リハビリテーション学院内)
TEL:096-389-1133 FAX:096-389-1135

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



事業予定表

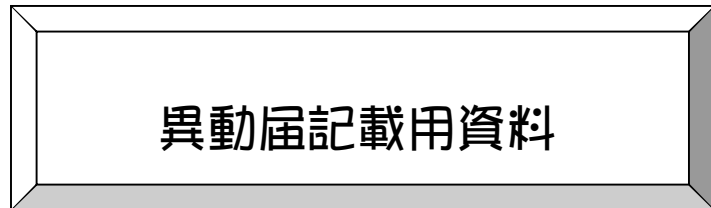
事業予定表								
8 月		9 月		10 月				
日	曜	日	曜	日	曜			
1	月	医専連代議員会	1	木		1	土	
2	火		2	金		2	日	糖尿病ウォークラリー
3	水	第6回理事会	3	土	福祉研修会	3	月	
4	木		4	日		4	火	
5	金		5	月		5	水	全国会長会議、第8回理事会(予)
6	土		6	火		6	木	全国学術研修会(6・7日) ：甲府市
7	日	第1回テーピング講習会	7	水	第7回理事会(予)	7	金	
8	月		8	木	県民介護講座	8	土	
9	火		9	金		9	日	
10	水		10	土	第1回学術研修会(～11日)	10	月	
11	木		11	日		11	火	
12	金		12	月		12	水	
13	土		13	火		13	木	
14	日		14	水		14	金	
15	月		15	木	県民介護講座	15	土	熊本市民健康フェスティバル(～16日)
16	火		16	金		16	日	ねんりんピック2011熊本(～17日)
17	水		17	土		17	月	
18	木	管理者教育カリキュラム(～19日)	18	日		18	火	
19	金	管理運営班会議	19	月		19	水	
20	土	↑理学療法士講習会(～22日)	20	火	かくどけい編集会議	20	木	管理者教育カリキュラム(～21日)
21	日	↓	21	水		21	金	
22	月		22	木	県民介護講座	22	土	
23	火		23	金		23	日	理学療法士講習会(基本編)
24	水	教育学術局会議	24	土	吸引セミナー(～25日)	24	月	
25	木		25	日	介護支援専門員受験対策講座	25	火	
26	金		26	月	かくどけい発送作業・保険部会議	26	水	
27	土		27	火		27	木	リハビリテーション・ケア 地域ケアフォーラム合同研究 大会くまもと2011 (27～29日)
28	日	介護教室、第42回市民公開講座	28	水	第2回部長会議	28	金	
29	月		29	木		29	土	
30	火		30	金		30	日	
31	水					31	月	
<ul style="list-style-type: none"> ・第2回新人研修会 ・臨床実習班会議(18日) ・第1回保険診療研修会(8月か9月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回新人研修会 ・第1回小児勉強会 ・第2回学会評議員会(9月か10月) ・第2回ブロック長・地区長会議 ・第1回保険診療研修会(8月か9月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・九州ブロック現職者講習会(2日) ・第2回保険診療研修会 ・第4回新人研修会 ・監査 ・県民健康スポーツ大会 ・第2回学会評議員会(9月か10月) 				
<p><卒後教育研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南地区(初級編：ラポール・リスク)(7日) ・西地区(初級編：ラポール)(21日) ・県北ブロック(初級編)(7日か28日) 				<p><卒後教育研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県北ブロック(中級編)(16日か23日) 				

施設区分（Ⅰ）

A群		B群	
1	大学病院	1	厚生省
2	総合病院	2	文部省
3	一般病院	3	労働福祉事業団
4	老人病院	4	旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
5	小児施設	5	都道府県
6	老人施設	6	市区町村
7	教育施設	7	日赤
8	行政機関	8	済生会
9	保健所	9	北海道社会事業協会
10	その他（含む自宅）	10	厚生連
		11	国民健康保険協会連合会
		12	全国社会保険協会連合会
		13	厚生団
		14	船員保険会
		15	健康保険組合及びその連合会
		16	共済組合及びその連合会
		17	国民健康保険組合
		18	公益法人（社団・財団）
		19	医療法人
		20	学校法人
		21	会社
		22	その他の法人
		23	老人福祉施設
		24	身体障害者更生援護施設
		25	児童福祉施設
		26	精神薄弱者援護施設
		27	その他の社会福祉施設
		28	個人
		29	その他（含む自宅）

施設区分（Ⅱ）

医療施設	病院	大学病院	1 - 1	
		総合病院	1 - 2	
		老人病院	1 - 3	
		小児病院	1 - 4	
		一般病院（上記以外）	1 - 5	
		精神病院	1 - 6	
		結核病院	1 - 7	
		らい病院	1 - 8	
		その他	1 - 9	
		診療所	診療所・医院	2 - 1
医療福祉中間施設		老人保健施設	3 - 1	
		訪問看護・PT	3 - 2	
		在宅サービス	3 - 3	
		その他	3 - 4	
福祉施設	老人福祉施設	養護老人ホーム	4 - 1	
		特別養護老人ホーム	4 - 2	
		老人福祉センター	4 - 3	
		老人デイサービス	4 - 4	
		その他	4 - 5	
		身体障害者更生援護施設	重度障害者授産施設	5 - 1
			肢体不自由者更生施設	5 - 2
			身体障害者療護施設	5 - 3
			重度身障者授産施設	5 - 4
			身体障害者更生相談所	5 - 5
			身体障害者福祉センター（A・B型）	5 - 6
			その他	5 - 7
		児童福祉施設	肢体不自由児施設	6 - 1
			肢体不自由児通園施設	6 - 2
			重症心身障害児施設	6 - 3
			薄弱児通園施設	6 - 4
			その他	6 - 5
	教育・研究施設		養護学校	7 - 1
			PT教育施設	7 - 2
			研究施設	7 - 3
		その他	7 - 4	
行政関係施設		保健所	8 - 1	
		市町村保健センター	8 - 2	
		国県市町村（行政）	8 - 3	
		その他	8 - 4	
保健（健康産業）		スポーツ関係	9 - 1	
		フィットネス施設	9 - 2	
		企業	9 - 3	
		その他	9 - 4	
その他		自宅	0 - 0	
		営業（自営・開業）	0 - 1	
		その他	0 - 2	
		海外	0 - 3	



異動届記載用資料

会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)		在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日		
		変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日		
フリガナ	印			旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)		
氏 名				姓	名		
所 属	県内異動	士会所属		入会年度	S・H 年度		
	県外異動	士会から	士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)		
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>						
	住所 都道府県			電話			FAX
	Eメールアドレス						
勤 務 先 自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ						
	名 称						
	所属部署						
	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>						
住所 都道府県			電話			FAX	
施設区分	I	A群	-B群	II	-		
会費納入	本 部 会 費		年度納入済		連絡事項		
	都道府県士会費		年度納入済				
クレジットカード発行 (○で囲む)			済 未				

※ 口座変更を希望される場合は
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄>

<士会受付番号> _____

_____ 士会事務局長 _____ 印 _____ 平成 年 月 日

< 個人情報について >

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)

社団法人 熊本県理学療法士協会
退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。



医療機器トピックス

ミナト医科学株式会社

福岡営業所

〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2丁目2番22号
TEL 092(415)5353 FAX 092(415)5378

干渉電流型低周波治療器

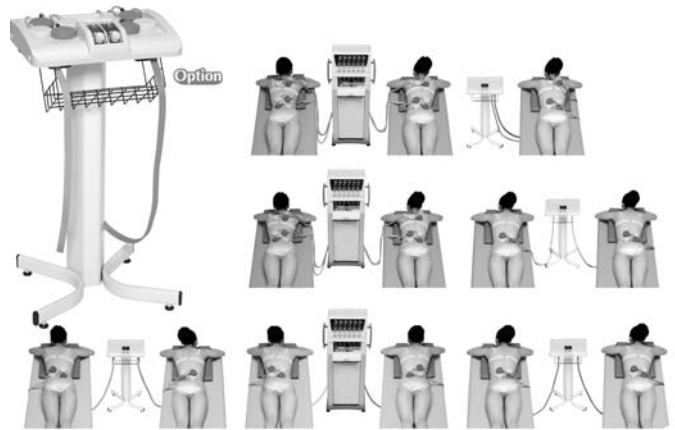
スーパーカイン

Superkine SK-10W DX

新発売

完全独立6チャンネルにより 治療効率がアップ

6チャンネルを効率的に稼働させるスタンドリモコン (PAT.P)

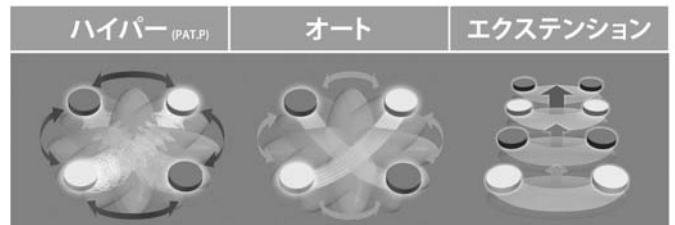


チャンネル毎に治療モードの設定が可能
6台のポンプで全チャンネルを安定吸引



新設計のスリムフィット導子 (PAT.P)
① 痲痕が付きにくい軽量設計
② 衣服内に装着しやすい薄型設計

症状で選べる新治療モード



編集後記

暑い季節がやってきました。今年の夏は特に暑い。そんな暑さを吹き飛ばしてくれた、サッカー女子W杯なでしこジャパンの初優勝。男女を通して初の快挙。強豪相手に臆することなく、厳しい環境の中で、努力を重ね積み上げた力を見せてくれた彼女たちの姿は、感動を与えてくれました。決勝戦は延長戦からPK戦、手に汗握る戦いを制したゴールドシャワーの中の彼女たちの笑顔は暑い太陽よりも輝いて見えました。

私も彼女たちのように努力を重ね、今自分が出来ることを精一杯し、輝きのある理学療法士になりたいと思いました。

(N.M)



社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号 数 第98号 通算135号
発行日 平成23年7月25日
発行人 社団法人熊本県理学療法士協会
〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
TEL/FAX 096-389-6463

STAFF 佐藤 亮 坂田 大介
江口 宏 岩村 泰年
緒方 美湖 山田祐理子
奥 蘭 彩 富 永 誠
野田 智愛 北岡 千春
渡邊 知子 松本 美香
有馬 正英 古川 晃次
財満 麻美 渡邊 大輔
福田 圭祐 中野 真実
南 留美子 岩見 幸省
野尻 晋一 (表紙)

